

KCfCA

Kyoto Center for Climate Actions

2022年度 (令和4年度) 年次報告書

特定非営利活動法人
京都地球温暖化防止府民会議
(京都府地球温暖化防止活動推進センター)

2023年6月



0 法人とセンター

● 私たちが目指すのは、「脱炭素型のステキな京都」です

2023年3月、IPCCの第6次評価報告書 統合報告書では、人間活動が地球温暖化を引き起こしてきたことには疑う余地がなく、過去半世紀の気温上昇率は2,000年間で最も高くなっており、気温上昇を産業革命前から1.5℃以下に抑えるためには、急激な温室効果ガスの削減が必要であると警告されています。

地球温暖化対策は、緊急を要する対策ですが、ともすれば「不便さや不快さを我慢するもの」、「経済活動に悪影響を与えるもの」と捉えられ進みを遅くしがちです。しかし対策の仕方によって、実はそうではなく、健康、防災、産業振興、地域活性化など、様々な『一石二鳥』= **コベネフィット**をもたらすものと期待されています。

私たちは、「脱炭素型のステキな京都」の実現を目指し、様々な立場の方々との連携で活動を行っています。

Vision

脱炭素型のステキな京都

Mission

ビジョン実現に向け、各々の立場を活かして取り組む担い手を増やし、担い手同士をつなぐなどして、その活動を活性化すること

Action

- ①担い手のサポート
- ②モデル的な取組づくり
- ③対策の面的展開

● 法に基づき、府知事による指定を受けて活動しています

NPO法人京都地球温暖化防止府民会議は、2003年10月に、地球温暖化対策推進法に基づき京都府知事より京都府地球温暖化防止活動推進センターに指定されました。

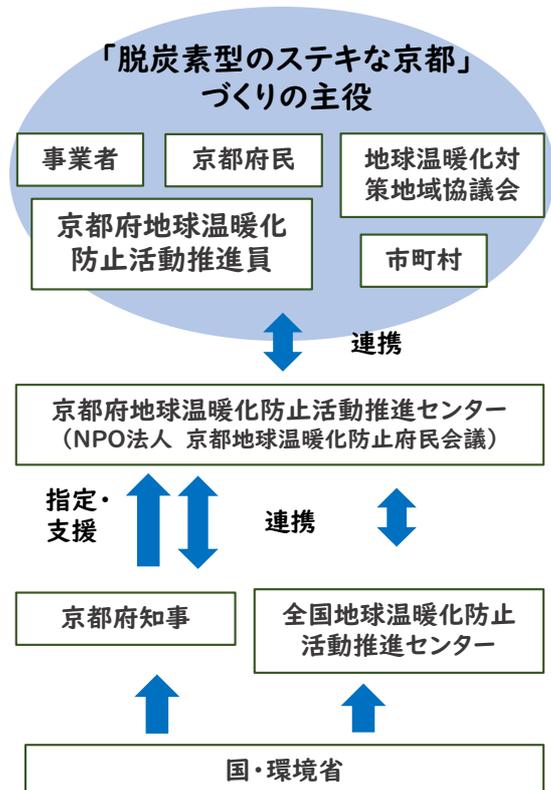
センターの指定は全国で18番目となり、**センター運営のための法人を新たに設立したのは、全国初の試み**でした。

京都府地球温暖化対策条例には、「府は、京都府地球温暖化防止活動推進センターが、地球温暖化対策を担う**中核的支援組織**として、事業者、府民及び環境保全活動団体の積極的な取組を促進する役割を果たすことができるよう、その支援に努めるものとする」と記載されています。

私たちは、環境保全のための1団体ではなく、府知事指定の中間支援組織として、皆様との連携のもとに活動をすすめています。

以降、本冊子では下記のように表記します。

京都府地球温暖化防止活動推進センター→センター
 京都府地球温暖化防止活動推進員→推進員
 地球温暖化対策地域協議会→地域協議会



● 連携でモデル事例をつくる・広げる ～これまでの代表的活動～

地域新電力「たんたんエナジー株式会社」と連携して、「オンサイトPPA」と呼ばれる初期投資ゼロでの設備設置方式により、**市民出資による再生エネルギー発電所+防災拠点づくりなどエネルギーの地産地消**を推進しました。(事業主体：たんたんエナジー発電合同会社、連携：福知山市)

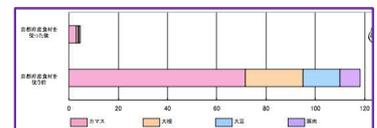


「京のアジェンダ21フォーラム」の社会実験から始まった**家電製品省エネラベル**。センターは、市町村やNPO、推進員との連携で、これを京都府全域へ、そして全国へと拡大。資源エネルギー庁の委員会に委員を派遣し、現在の「統一省エネラベル」制度づくりに参画しました。

京都府の「**ウッドマイレージCO2を組み込んだ京都府産木材認証制度**」に制度設計段階から参画。平成16年の制度立ち上げ以降、約4,400通の証明書を発行。のべCO2削減量は5,000トンにも。京都府産木材利用の拡大と、木材輸送によるCO2削減に取り組んできました。

KGPNや行政機関との連携で、学校給食や社員食堂での「**旬の京都府産食材**」の利用拡大キャンペーンを実施。一次産業の活性化と食材輸送によるCO2削減に取り組んできました。フード・マイレージCO2を計算したところ、90%以上削減された実績がいくつも確認されています。

私たちは、**京都を大切に**する取り組みで**気候変動対策**を進めてきました。



● 2022年度（令和4年度）の活動（本報告書の目次）

1. 地球温暖化防止府民活動推進事業…………… P.3
2. 再生可能エネルギー普及支援事業…………… P.8
3. 市町村と連携した地域脱炭素推進事業…………… P.11
4. その他…………… P.14

府民活動推進

京都府地球温暖化防止府民活動促進事業

情報発信

インターネットを利用し、ホームページと様々なSNSを駆使して情報発信を行いました。

月に1回のKCFCAニュースで、センターの活動・温暖化の最新情報・地域のイベント情報を配信しました。

季刊で「Webうおーみんぐ」と題し、温暖化関係の特集記事と、推進員の活動紹介を掲載して発信。また、Webうおーみんぐを広報するチラシを印刷配布しました。



各SNS等への登録は裏表紙をご覧ください。

情報発信のサポート・啓発グッズ貸出



新しく作成したパネルや、手回し発電機・わなげなどの啓発グッズを多くのイベントや授業で、推進員や教員の皆様にご活用いただきました。



貸出啓発グッズの一覧や貸出方法は、
<https://www.kcfca.or.jp/tool/>

啓発グッズ貸出回数 **54回**
貸出アイテム数 **のべ 441アイテム**

「めざせCO₂ゼロチャレンジ！」で家族ぐるみの取組を促進



CO₂排出ゼロの未来について、夏休み期間中に家族で考える取組です。「ゼロの暮らしを想像する」「ゼロにするための秘密道具を想像する」「気候変動に関するニュースを調べる」などの中から選んだものを、絵や文章でチャレンジシートに書いてもらいました。

取組が本※で紹介されたり、チャレンジシートを殿堂やタクシーラッピング等でPRできました。

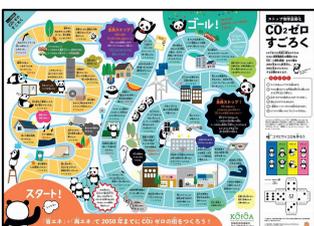


チャレンジシート
2022取組事例紹介
ステキな結果が見れます

参加学校数
112校

参加世帯数
11,673世帯

基本の対象を4年生以上とし、希望する学校を募り配布をしました。参加率の高い優秀校には、知事による表彰に加え、協賛企業の協力を得て環境教育教材を贈呈しました。



また、取組んだ児童全員に参加賞として、CO₂ゼロのステキな町をゴールにした「CO₂ゼロすごろく」を作成・配布しました。



↑京都地球環境の殿堂
でチャレンジシート展示



↑本※で
取組が紹介



↑児童がかいたチャレンジシート
(一部) がタクシーのラッピングに。

※「知りたい!カーボンニュートラル 脱炭素社会のためにできること (4) 学校や家庭でできること どう捨てる? どう行動する?」

京都府地球温暖化防止府民活動促進事業

● 推進員活動の支援

研修会の開催、啓発資材の貸出、活動現場にうかがってのお手伝い、活動支援金のお支払いなど、様々な形で推進員の皆様の活動に関わらせていただきました。

推進員活動回数は、報告されたもの、かつ対外的な活動だけで1,495回に上りました。新型コロナの影響下でも多くの活動が様々な形で展開されていた結果です。その内容も啓発活動だけにとどまらず、脱炭素型の地域づくりの活動も、推進員の皆様によって各地で行われています。

推進員のべ活動件数 1,495回
報告されたものの中から、対外的な活動のみをカウント

推進員活動についてはこちら
<https://www.kcfca.or.jp/project/leaders/>



推進員活動回数一覧

活動内容	件数
森林保全活動	313
イベントでの啓発	287
子ども向け出前講座	287
家庭の省エネ相談・診断	94
みどりのカーテン普及	83
メディアを使った情報発信	63
大人向け出前講座	60
事業所の省エネ相談・診断	9
その他(廃食油回収を含む)	299
合計	1,495

推進員の活動を支援するために研修会も開催しています。

第1回推進員研修 テーマ:温暖化対策最新情報

(7/8 zoom、7/14福知山市、7/16京都市、YouTube限定配信) 107名

第2回推進員研修 テーマ:脱炭素型のこれからの建物・住宅

(9/29zoom、10/7福知山市、10/8京都市、YouTube限定配信) 96名

第3回推進員研修 カードプログラム「2050カーボンニュートラル」

(1/15・20京都市、1/19福知山市) 84名



↑カードプログラム
「2050カーボンニュートラル」

● 省エネ相談所・京都クールチョイス相談開催とスキルアップ研修

家庭部門でのCO2排出を直接相談によって削減することを目的に、「省エネ相談所」を実施しました。京都市内で10回、八幡市で1回、合計153名に相談をお受けいただきました。

さらに、省エネ相談所と京都クールチョイス相談の相談員のスキルアップ研修(2/25)を企画し・開催しました。(22名参加)



省エネ相談所の様子



スキルアップ研修会の様子

京都府地球温暖化防止府民活動促進事業

● 温暖化教室

小学校・高等学校の児童生徒を対象とする出前教室を実施しました。
また、他団体が開催する学習会に講師を派遣しました。



● インターネット環境家計簿

エネルギーの使用量と使用金額が入力できCO2換算できる京都府インターネット環境家計簿の運営を行いました。また、Android端末向けにサイトと連動する「京都府インターネット環境家計簿アプリ」を開発し、試行配布しました。

インターネット環境家計簿アプリ⇒



インターネット環境家計簿⇒

住宅の省エネルギーフォームに関するリーフレット作成等業務

● 府連携「家庭部門の住まい脱炭素化」

府内の工務店等が活用できる住宅の省エネルギーフォーム資料『健康と快適は窓から!』リーフレット、『ついて健康・快適リフォームのすすめ』冊子を、専門家と連携しながら作成、府内工務店等へ配布しました。

【京都府】省エネ住宅について <https://www.pref.kyoto.jp/tikyuu/shouenejyuutaku.html>にて、ご覧いただけます。



環境省補助 地域における地球温暖化防止活動促進業務

● インターネット環境家計簿登録キャンペーン



電気代高騰等による光熱費への関心の高まりに合わせて、京都府インターネット環境家計簿登録キャンペーンを実施。チラシ、ブース出展、SNS等で登録を呼びかけました。また、家庭の省エネに関する動画を作成し、具体的な省エネ方法の情報発信をしました。新規登録者54名、動画閲覧数1,989回等。

● 事業者対象・緊急エネルギー対策セミナー等

光熱費高騰対策および需給ひっ迫対策の一環として、夏に事業者対象セミナー「事業所の省エネのツボ!」を開催。また、冬には初期費用を抑えた太陽光発電設置についてのセミナー「電気代対策、太陽光で自家消費」を実施。また、省エネ・再エネに積極的に取り組んでいる京都の中小事業者を紹介するセミナー「脱炭素&環境経営でブランド力UP」を開催しました。



● 貸出パネル/『やってよかった省エネ冊子』作成



IPCC第6次評価報告書の内容を踏まえた啓発パネル(A1サイズ・9種類)や、推進員の実体験をもとにした『やってよかった省エネ冊子Part2』を作成。貸出や資料提供等により、府内の温暖化防止活動の支援を行いました。

● 連絡調整会議

地域団体や市町村担当者、事業者団体等による連絡調整会議を2回開催。「脱炭素先行地域の事例紹介&「2050カーボンニュートラル」カードゲーム体験会の実施」「建物の脱炭素化とZEB」に関する情報を共有し、意見交換を行いました。

その他

その他

● 住まいにおける熱中症対策

住居内における熱中症対策を啓発するためのリーフレット『家の中でも油断しないで!熱中症』を、専門家と連携しながらデータ作成をしました。



● 省エネ対策連絡調整会議の支援

エネルギー危機による夏の電力需給ひっ迫についての情報共有および協力体制構築に向けて、京都府が開催した「京都府省エネ対策連絡調整会議・市町村省エネ対策担当課長会議」に係るオンライン会議運営支援業務を実施しました。



「府民活動推進」の全体像と主な成果

<京都府委託 京都府地球温暖化防止府民活動促進事業>

相談窓口の設置

地球温暖化防止活動に関する情報提供 (月1回 KCFCAニュース発行・年4回 うおーみんぐWeb版作成・案内チラシ合計11,500部発行) Webサイト運営(アクセス・リーチ数649,874件)

京都府地球温暖化防止活動推進員研修会の開催(11回)

推進員活動支援金の支給(活動支援金支払対象者:141人 推進員活動実績:1,495回)

環境教育教材を推進員・市町村等へ貸出(貸出回数:のべ54回 貸出アイテム数:のべ441個)

温暖化教室(小学校等での環境教育)(実施回数:10回、のべ参加者数:301人)

エコライフ推進(「めざせCO2ゼロチャレンジ」11,673世帯 インターネット環境家計簿3,867人)

家庭の省エネ相談所の実施及び実施支援(回数:実施11回 参加者数:153人 支援1回)

省エネ相談・京都クールチョイス相談アドバイザー養成講座開催

<京都府委託 住宅の省エネリフォームに関するリーフレット作成等業務>

窓断熱リフォーム紹介リーフレット「健康と快適は窓から!」作成(6,000部+追加10,000部)

省エネリフォーム紹介冊子「ついでに健康・快適リフォームのすすめ」作成(6,000部)

<環境省補助 地域における地球温暖化防止活動促進業務>

インターネット環境家計簿登録キャンペーン(情報発信、登録者54人、動画閲覧数1,989回等)

事業者対象セミナー(実施回数:3回、のべ参加者数181人、動画配信)

啓発パネル作成(9枚)、やってよかった省エネ冊子Part2作成(3,000部)

京都府地球温暖化防止活動推進連絡調整会議の開催(2回)

<京都府委託 住まいにおける熱中症対策のリーフレット企画・原稿データ作成業務>

リーフレット「家の中でも油断しないで!熱中症」データ作成

<京都府 省エネ対策連絡調整会議に係るオンライン会議運営支援業務>

京都府の夏の電力需給ひっ迫対応するための省エネ対策連絡調整会議のオンライン運営の支援

2 再エネ普及支援

京都再エネコンシェルジュ認証制度に係る支援、普及啓発業務

● 京都再エネポータルサイトの運営

再エネ設備に関する情報、京都府内の市町村等による再エネ導入支援策に関する情報、京都再エネコンシェルジュに関する情報など、京都府内の一般家庭が再エネを導入するにあたり必要となる情報に、だれもが簡単にアクセスできることを目指して、「京都再エネポータルサイト」の運営を行いました。

<https://kyoto-saiene.net/>



訪問者数 207,913



● 京都再エネコンシェルジュのサポート

京都再エネコンシェルジュの活動をサポートするため、メーリングリストや京都再エネポータルサイトを利用した再生可能エネルギー関連の情報や研修情報を共有しました。メールでの京都再エネコンシェルジュ【ニュース】を月に1回発行しました。

また、新たに京都再エネコンシェルジュ6名3件と設置者2件のインタビューと施設1件の紹介記事を「京都再エネポータルサイト」にアップしました。

『京都再エネポータルサイト』インタビュー
<https://kyoto-saiene.net/interview/>



● 『今こそ再エネ！』キャンペーン

京都再エネコンシェルジュと協力し、府民への啓発活動を行うために、「京都再エネコンシェルジュが応援『今こそ再エネ！』キャンペーン」と題したキャンペーンを9月と12月～1月の2回実施しました。のべ27事業者がキャンペーンに参加して、再エネのPRを行いました。

再エネをPRする三つ折りパンフも作成し、配布するとともに、同デザインののぼりやポスターの掲出をしていただきました。



京都再エネコンシェルジュ認証制度に係る支援、普及啓発業務

「再エネわくわくフェア2022夏」商業施設での啓発

2022年9月3日(土)に、商業施設イオンモール京都桂川で啓発活動「再エネわくわくフェア2022夏」を実施しました。京都再エネコンシェルジュに希望を募り、応募のあった4事業所にブース出展していただきました。イベントを一周するクイズラリーには490名の参加者がありました。

再エネ体験ブースでは、太陽光発電、風力発電、水力発電の体験と、木質ペレットをショベルカーですくう体験のできるコーナーを設置するとともにペレットストーブの展示もして、親子で楽しんでいただきました。当日会場にイベントのPRでまゆまるにご登場いただき、大いに盛り上がりました。

参加者 490名



京都再エネコンシェルジュのブース



京都府補助 京都府未利用地活用再生可能エネルギー導入促進事業

事業者向けソーラーカーポート等 補助金

コロナ禍における中小企業等の事業継続と経営改善を支援するため、駐車場等の自社の未利用地を活用した太陽光発電設備(ソーラーカーポート等)の導入費用に対する補助を京都府の補助金として実施しました。

補助対象は、ソーラーパネル・カーポート・蓄電池・非常用電源コンセントとし、再生可能エネルギーの普及とともに非常時のレジリエンス強化を目指しました。

認知度や実績の少ないソーラーカーポートを知ってもらいながら、事業者対象の補助金交付に関する説明会を開催し、チラシやインターネット、京都地球環境の殿堂でのブース出展等による広報活動等を行いました。



説明会(福知山)



京都地球環境の殿堂 ブース



京都府 オンライン再エネ学習教室運営業務

● 京都子どもエネルギークイズ

京都府の小学生（4年生以上推奨）とその家族を対象として、再生可能エネルギーに関するクイズをオンラインで出題する「京都子どもエネルギークイズ」を7/1～9/13の間で実施しました。そのうち7/1～7/31には、8問すべてに正解した人を対象に、夏休みの自由研究にも使える再エネ工作が当たる抽選を行い、応募者にはアンケートにご協力いただきました。

クイズは問題が難しいため、子どもたちへのヒントとして、出題されるクイズの内容をわかりやすく解説する動画を作成。地球温暖化とその対策、再エネ、省CO2等を楽しく学んだ後、クイズにチャレンジできる仕組みとしました。

また、同時期に実施した「めざせCO2ゼロチャレンジ」と連携し、相乗効果でそれぞれの参加者を増やす工夫をしました。子どもエネルギークイズではチラシと動画でゼロチャレを広報し、ゼロチャレの冊子には子どもエネルギークイズのチラシを挟み込みました。その結果、子どもエネルギークイズの参加者にゼロチャレ385冊を送付することにつながり、動画の再生数は去年の倍に伸びました。

クイズ回答数 のべ1,708回
 工作応募数 602人
 動画再生数 のべ2,792回



自主事業 団体連携

● 市民再エネプロジェクトin京都

温暖化を防止するさまざまな活動を続けてきた団体が、市民共同発電所をさらに広げようと連携した市民再エネプロジェクト。市民が共同で太陽光発電と蓄電池を設置する施設を募集しました。寄付も募集しウトロ平和祈念館に設置することができました。参加団体：NPO法人京都地球温暖化防止府民会議、認定NPO法人気候ネットワーク、一般社団法人市民エネルギー京都、NPO法人エコネット近畿、認定NPO法人きょうとグリーンファンド



「再エネ普及支援」の全体像と主な成果

<京都府委託 京都再エネコンシェルジュ認証制度に係る支援、普及啓発業務>

- 住宅での再生可能エネルギー利用に関する情報整備と発信（京都再エネポータルサイトの運営）
- 再エネコンシェルジュインタビュー（6名3件）、設置者インタビュー（2件）、再エネ展示施設紹介（1か所）
- 京都再エネコンシェルジュと協力した啓発活動（のべ27事業者参加）
- 再エネ導入促進ツールの作成（パンフレット、のぼり、ポスター）、商業施設等での啓発活動（490名）

<京都府補助 京都府未利用地活用再生可能エネルギー導入促進事業>

- ソーラーカーポート等補助金

<京都府委託 令和4年度けいはんな太陽光発電所を活用したオンライン再エネ学習教室運営業務>

- 京都子どもエネルギークイズ（クイズ回答数のべ1,708回、工作応募数602名、動画再生数2,792回）

<自主事業 市民再エネプロジェクトin京都>

- 設置場所募集、寄付金募集広報（1カ所設置+申込2カ所）

3 市町村と連携した地域脱炭素推進

京都市 省エネ行動促進プログラム実施業務

● 家庭の省エネ診断（うちエコ診断）の実施

京都市の省エネ行動促進プログラム事業の一環で、家庭の省エネ診断（うちエコ診断）を実施。コロナ対策として、対面ではなく書面にて診断を行いました。

省エネに関するアンケート調査票にご記入いただき、後日それをもとに作成した診断結果報告書をご自宅へ送付しました。合計で、12学区と2イベントで、557名（うち京都市民542名）に受診いただきました。

また、学区ごとの分析と省エネの取組をまとめた「家庭の省エネハンドブック」を作成し、全受診者に送付。事後調査も行いました。CO₂削減量は、285t-CO₂、削減率は受診者全体の排出量の13.5%でした。

（※削減量は実測値ではなく、診断後の取組内容からのみなし量です）

加えて、アフターフォローとして省エネ学習会を実施し、家庭でできる省エネの体験談等を共有することで具体的な行動への橋渡しをしました。



イベントでアンケート調査票の配布



省エネ学習会



省エネ学習会

うちエコ診断件数 557件
みなし削減量 285t-CO₂

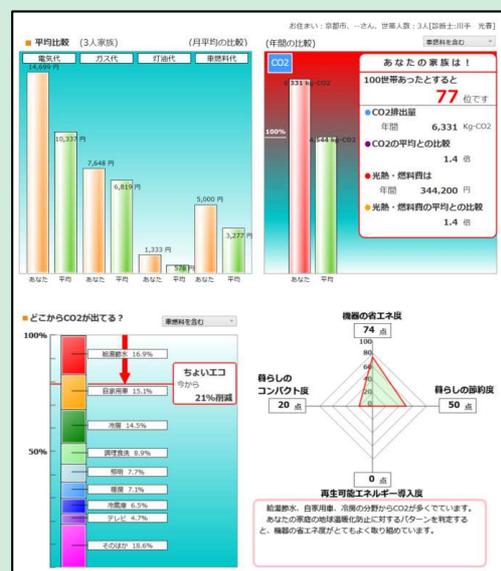


ZOOMを利用した診断士研修会

うちエコ診断とは

家庭のエネルギー消費量や家電製品、設備機器利用状況をもとに、専用のアプリケーションをもちいて、環境省の公的資格である「うちエコ診断士」が、家庭の省エネ診断を行うものです。

「一般的な呼びかけ」ではなく、「受診された家庭にピッタリの取組と一緒に考える」点が特徴です。



京都市 省エネ行動促進プログラム実施業務

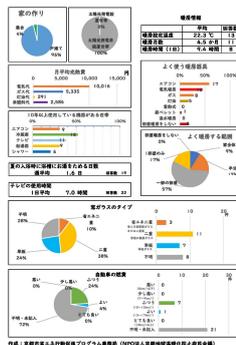
● アフターフォローの省エネ学習会

家庭の省エネ診断のアフターフォローとして、「電気代高騰に備え、省エネ術を知ろう」というテーマで省エネ学習会(8回実施:156名参加)を実施しました。家庭でできる省エネの体験談をはじめ、導入コストや電気代削減率等の具体的データを共有することで、省エネ行動を後押ししました。

参加者からは、「何%省エネより何円というのがより身近に感じられました」「シャワー20分で浴槽一杯程と聞いて驚きました」「エアコンのCO2排出量が他の暖房器具に比べて一番少ないのは意外でした」等の感想がありました。



● 家庭の省エネ診断実施後の「学区の分析」



家庭の省エネ診断の受診者が8名以上の10学区については、その学区の分析を行いました。学区の平均で、家庭のどこからCO2が多く排出されているのかグラフと共に分かりやすく明示し、上位3位までは、省エネ対策のポイントを詳しく説明しました。

さらに、暖房関連、窓ガラスの種類、自動車をピックアップして、分析結果をグラフとともに掲載しました。

● 学区独自の「家庭の省エネハンドブック」の送付

過去の診断の分析から、CO2排出量の多い分野の省エネポイントと、0円ソーラーと内窓設置の実践者の声を、家庭の省エネハンドブックとしてまとめました。

各学区の分析結果から、用途別CO2排出量の上位3位までと、冊子中の対応するページを記載したシールを表紙に貼って、その学区独自の「家庭の省エネハンドブック」にしました。学区の回覧板で回したいとお申出があったため、4学区10,800世帯へ回覧して頂きました。



家庭の省エネハンドブック 回覧:10,800世帯

省エネハンドブックPDF



木津川市エコアクション実践セミナー(3回連続講座)実施運営業務

● 木津川市エコアクション実践講座

木津川市「COOL CHOICE普及啓発事業」の一環として、大人向けエコ講座「エコアクション実践セミナー ～地球温暖化とこれからの暮らし～」の講師として情報提供しました。同講座は積水ハウス株式会社総合研究所とも連携し、納得工房内の実物展示見学ツアー体験も行われました。



9/14 地球温暖化・気候危機 ～最新情報～

9/28 省エネと住宅・暮らし

10/20 再エネで豊かな地域をつくる

自主事業

● 市町村職員対象オンライン研修プログラム

地方公共団体実行計画(事務事業編)の実施に係る全庁職員を対象とした研修プログラム(動画およびオンラインアンケート)を企画。京丹後市、舞鶴市、京田辺市、久御山町の4市町から申込があり、計625人の職員が参加しました。



「市町村と連携した地域脱炭素推進」の全体像と主な成果

<京都府地域センターうちエコ診断実施機関>

うちエコ診断士(27名)登録、

557件の診断実施(京都市委託含む) 285トンのCO₂削減確認(事後調査票229件の分析結果)

<京都市委託 省エネ行動促進プログラム実施業務>

うちエコ診断士対象研修会(補助金及び京都市省エネ行動促進プログラムに関する事項)

家庭の省エネ診断(うちエコ診断)調査票配布(12学区と2イベント)

京都市542件の診断を実施

家庭の省エネハンドブックと学区の分析を作成し、受診者全員に配布

家庭の省エネハンドブックは、4学区で全戸回覧(903冊、10,800世帯)

<木津川市委託 エコアクション実践セミナー(3回連続講座)実施運営業務>

木津川市市民対象講座の企画実施運営

<自主事業 市町村職員対象オンライン研修プログラム>

市町村職員向けオンライン研修プログラムの提供 4市町、625人受講

4 その他

● 講師・委員派遣等 (主なものを抽出して掲載)

委員・役員等

<京都府>

- ・京都府環境審議会
- ・地球温暖化対策プラン(府庁の省エネ・創エネ実行プラン)検討会議委員
- ・再生可能エネルギー導入促進プラン検討委員
- ・京都丹波スマート環境推進プラットフォーム検討会
- ・京都環境フェスティバル実行委員会委員・監事
- ・地域脱炭素化促進区域設定基準に関する専門委員会

<国-環境省近畿地方事務所>

- ・近畿地域エネルギー温暖化対策推進会議
- ・気候変動適応近畿広域協議会委員
- ・適応啓発コミュニケーションツール検討会

<市町村>

- ・福知山市 環境審議会 委員
- ・宇治市 環境保全審議会委員
- ・宮津市 環境基本計画策定委員会委員
- ・向日市 環境基本計画策定委員会委員
- ・長岡京市 生活環境審議会委員
- ・京丹後市 美しいふるさとづくり審議会委員
- ・木津川市 環境審議会委員
- ・久御山町 地球温暖化対策実行計画第5期計画策定委員会
- ・京都市 京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム委員

<団体等>

- ・(公財)京都市環境保全活動推進協会事業運営委員
同 プログラム・人材育成小委員会

講師派遣(講演会・研修・事例報告等)

<京都府>

- 6/14 高校生による気候変動学習プログラム
- 7/13 京都府省エネ対策連絡調整会議・市町村省エネ対策担当課長会議
- 10/28 京都舞鶴 再エネフェス 再エネセミナー

<団体等>

- 8/25 E-konzal「データに基づく地域の脱炭素化の進め方」
- 11/16 京都電機消防設備団体連絡協議会「研修会」
- 12/10、17 龍谷大学「学生気候市民会議」
- 3/7 城南衛生管理組合「環境教育研修」

<他府県等>

- 1/14 秋田市地球温暖化防止活動推進員「研修会」
- 1/25 NPO法人上田市民エネルギー「2050カーボンニュートラル」ファシリテート

<市町村>

- 6/9、14、7/5、15 宇治市「高齢者教室」
(宇治市内公民館4か所)
- 7/31 城陽市「夏休み親子工作教室」
- 8/12 向日市「環境市民講座」
- 10/29 京丹後市「京丹後万博」
- 11/8 京丹後市「脱炭素経営促進セミナー」
- 11/15、17 福知山市「楽しく学ぶ環境講座」
- 11/26 精華町「環境のつどい」
- 12/17 京丹後市「京丹後再エネ・温暖化教室」
- 2/18 京丹後市「令和4年度環境(ゼロカーボン推進)講座」
- 3/24 城陽市「温暖化防止教室」

企業と連携して支援

協定を結んでいる「たんたんエナジー株式会社」と連携して脱炭素を目指す自治体・企業の支援を行いました。

調査研究

理事、スタッフは、地球温暖化防止に関する学術研究も行なって、発信しています。

法人総会

6/28にNPO法人総会をzoomと会場のハイブリッドで開催。意見交換を行いました。

ご寄付・賛助会員・協賛の募集

京都府地球温暖化防止活動推進センターは「NPO法人 京都地球温暖化防止府民会議」が運営しています。当法人の活動は、皆様からのご支援によって支えられています。会員・賛助会員・寄付・協賛を募集しておりますので、ぜひご検討ください。

(1) 会員・賛助会員

会員を募集しております。正会員・準会員とも個人会費2,000円団体会費3,000円となります。賛助会員は1口1万円から何口でもご指定いただけます。

(2) ご寄付

団体を強くそして活発にしていくために、ぜひともご寄付をお願いいたします。お預かりした寄付金は、脱炭素社会づくりのために活用させていただきます。差し支えなければ、ご寄付いただいた個人・団体・企業様のお名前をホームページにてご紹介させていただきます。

(3) 協賛

バナー広告掲出による協賛を募集しています。ホームページ下方の会社・団体様のバナー(240ピクセル×160ピクセル)掲出料をお支払いいただく形での協賛をお願いいたします。バナー広告料は、月額1万円(税抜)とし、年度はじめに、年度単位で掲出及び請求をさせていただきます(年度途中からの掲出の場合は月割計算)。主旨にご賛同いただき、活動を支えていただければ幸いです。

また、企業・団体様独自の基準を決めていただきご協賛していただくことも大歓迎です。詳しくはお問い合わせください。

詳しくは <https://www.kcfca.or.jp/support/> ⇒



情報をお届けします。ぜひご活用ください。



ウェブサイト。
ぜひご覧ください。
貸出啓発グッズの一覧もこちらから。



メールニュース登録「KCFCAニュース」
Webwarming+subscribe@kcfca.or.jp に
空メールをすると、返信がくるので、さらにその
メールに返信するか、そのメールの文中の「この
グループに参加」をクリックすると自動で登録で
きます。



Twitter



LINE



Facebook



Instagram



YouTube

よりリアルタイムに多くの情報をお届けするためSNSを活用しています。
ぜひご登録ください。



特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議
(京都府地球温暖化防止活動推進センター)

〒604-8417 京都市中京区西ノ京内畑町41番3
TEL:075-803-1128(代) FAX:075-803-1130
E-mail:center@kcfca.or.jp URL:https://www.kcfca.or.jp